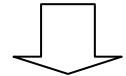


思考する力・表現する力を高める学習プロセスと指導のねらい

学習プロセス		つかむ(課題設定)	調べる(自力解決)	深める(練り上げ)	ふりかえる(まとめ)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 疑問をもつ ■ 課題を明確にする ■ 見通しをもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 予想や仮説を立てて検証する ■ 資料を収集する ■ 自分で考えてみる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の考えを伝える ■ 相手の考えを理解する ■ よりよい考え方を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の考えをまとめる ■ 他者にわかりやすく伝える ■ 学びをふりかえる
思考		◆ 疑問点や意義ある課題を見出す	◆ 予想や仮説を立てる、解く ◆ 資料を収集し調べる	◇ 思考ツールを活用する等、友だちと考えを比較・検討し、考えを練り上げる	◇ 課題に対しよりよい結論を見出す ◇ 自分の変容に気づく
表現		◆ 疑問点や課題を明確に表現する	◆ 収集した資料を精選等し、課題について自分の考えをまとめる	◆ 練り上がった考えを表現する	◆ 根拠をもとに、自分の考えをわかりやすく伝える
小学校	1・2年生	○ 見聞きし、体験したことをもとに疑問や不思議に気づく ○ 疑問や不思議に思ったことを書く	○ 比較・分類する ○ 目的をもって調べる ○ 知りたいことを明確に話す ○ 資料中の問題に関する部分を選び出す	○ 共通点と相違点を考える ・「AとBは似ているけど、AとCは違う」 ○ 共通点・相違点に気をつけて話を聞く・意見を述べる	○ 何を学んだかわかる ○ 自分の考えを順序よく話したり書いたりする ○ 学習活動を振り返り記録する
	3・4年生	○ 複数の事象から関連する疑問を結びつける ○ 疑問部分を付箋紙やカードを活用し書き出す	○ 結びつき・規則性に気づく ○ 目的にあった方法で調べる ・ 図書やPCを使って情報を集める ・ 手紙、電話、メール、映像など情報収集の方法を選択する	○ 比較・分類、仮定して考える ・ 「AとBを比べると～」 ・ 「もし～だったら…」 ○ 比較や分類、仮定をしながら話を聞く・意見を述べる	○ 学びの前後での自分の変容がわかる ○ 自分の考えを整理し、筋道を立てて書いたり話したりする ○ 学習活動の成果と改善点を記録する
	5・6年生	○ 複数の関連する疑問から、中心となる問題を絞る ○ グラフや図・表から疑問に思ったことを取り出しまとめる	○ 規則性から類推する ○ 効率よく調べる ・ 調べることをキーワードに分類し、目次や索引を使い情報を収集する ・ アウト等を用い数値的な情報を収集する	○ 類推・組み合わせで考える ・ 「Aが～だからBも…」 ○ 類推や組み合わせたりして話を聞く・意見を述べる	○ 課題に対しよりよい結論を見出す ○ 自分の考えの根拠を明確にして書いたり話したりする ○ 考えの根拠を明確にして書いたり話したりする
中学校		○ 複数の疑問から意義ある課題を決定する。 ○ 課題解決の方法やゴールイメージをもつ。	○ 資料を自ら選択して、計画的に調べる。 ○ 複数の資料を比較して、要不要を吟味し、自分の考えをまとめる。	○ 相手を納得させる結論や表現方法を考える。 ○ それぞれの考えの長短について意見を述べ、よりよい考えを選択する。	○ 目的意識、相手意識を明確にして自分の考えを書いたり、話したりする。 ○ 自分や他者の学習活動の成果と課題に気づき、記録する。

教師の姿勢

教師は指導のねらいを明確にして、児童生徒の発達段階や学習の実態に応じて学習活動を工夫し、授業づくりを行う。



教師が問題解決の方向性を示し、児童生徒に解決方法を考えさせる

学習の基盤づくり

言語活動の充実

主体的な学習態度の育成

探究活動の質的な充実

教科横断的な問題解決学習の充実

一人一人が自主的・創造的な問題解決を図る